

コロッキウム

17 世紀オランダの画家とアート・マーケット

日時：2019年3月3日（日）

場所：国立西洋美術館 講堂（台東区上野公園 7-7 <http://www.nmwa.go.jp/jp/index.html>）



芸術作品の様式/主題の選択と展開、注文/制作環境、パトロンへの役割、絵画売買の手段、価格——いずれもアート・マーケットと密接に関係し、決定されています。本コロッキウムでは、その様相を17世紀オランダに特化して考察します。なかでも、ヨーロッパ諸国に先駆けて都市化が進み、都市ごとに特徴ある主題・様式・マーケット環境を展開させた17世紀オランダの事情に鑑み、デルフト・ライデン・アムステルダム の3都市に焦点を合わせます。17世紀最後の四半世紀にオランダのマーケット環境が大きく変化したことを踏まえて、ポスト・レンブラント/フェルメールとも言える時期にも注目していきます。

アート・マーケットは、ここ数十年の美術史研究の中心テーマの一つとなっています。園府寺司（大阪大学）を研究代表者とする美術史家グループはそのトピックに注目し、科学研究費基盤A（西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究）の助成を得て、歴史の縦軸・横軸から研究に取り組んでまいりました。多数の皆さまのご聴講・ご参加をお待ち申し上げます。

なお、各発表・討論には同時通訳が入ります。

次 第

- 13:00~13:10 **開会あいさつ** 園府寺司（大阪大学教授）
- 13:10~13:40 **『フェルメールはアート・マーケットといかに向かい合ったか』** 小林頼子（目白大学教授）
- 13:40~14:30 **『エリート層と絵画：ライデンの精密画家・ヘット・ダウと彼の顧客たち』**
ピット・バックセル（ヨルダース / ヴァン・ダイク板絵プロジェクト古文書研究員）
- — — — — 休 憩 — — — — —
- 14:45~15:35 **『レンブラント時代のアムステルダムのアート・マーケットのダイナミズム：
画家たちの柔軟な対応とネットワーク』** エルナ・コック（アムステルダム大学研究員）
- 15:35~16:05 **『変わりゆく17世紀オランダのアート・マーケット』** 青野純子（九州大学准教授）
- — — — — 休 憩 — — — — —
- 16:20~17:20 **フロアを交えての討論**
- 17:20~17:30 **閉会の辞** 陳岡めぐみ（国立西洋美術館主任研究員）

入場について

- ・開 場：12:30~（自由席）；定員：130名（先着順）
事前申し込み不要、聴講無料
- ・入 場：聴講券が必要です。当日11:00より、館内インフォメーションにて、お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の30分前からご入場いただけます（整理番号順）。
- ・ご注意：常設展示室及び開催中の『国立西洋美術館開館60周年記念 ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代』 展示場には、別途、鑑賞券購入が必要です。

主催：科学研究費基盤A：JP 26244009（研究代表者：園府寺司「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」）/ 国立西洋美術館

共催：美術史学会

企画・構成：園府寺司 / 小林頼子 / 陳岡めぐみ 司会：小林頼子

お問い合わせ先：03-5777-8600（ハローダイヤル）



作者不詳《香具師》(1620頃、アムステルダム国立美術館)。絵を売るルカ組合が見える細部。